

ひがし

広報

しらかわ

No. 207

'53 1 / 20

人口の動き

—12月末住民登録 人口から

世帯数 950 世帯

人口 3,931 人

転入 3 人

転出 6 人

出生 1 人

死亡 5 人

先月と比較して 7 人増

昨年の同月と比較して 25人減

発行 / 岐阜県加茂郡東白川村

編集 / 企画広報課 印刷 / 関市中印刷



働く 若者

保育園は多忙な家庭の幼児を保育するというたてまえから今脱皮しつつある。

「三つ子の魂百まで」のことわざにあるように、幼児期の情操教育は重要であり難かしい。

—今日も子供たちと心のふれあいを目指す保母田口太志子さん (24歳)

主な内容

- 新春座談会 P2~4
- 馬年インタビュー P5
- 恒例の出初式 P6
- 歳末たすけあい募金結果 7P
- 寄稿—中国見てある記 P8
- 小学校入学をひかえて P9
- 税の告知板 P10
- 村誌編さんだより P11
- ふるさとへの便り P12
- けいじ板は P 4・P6の下欄

新春座談会

健康で明るい村づくり

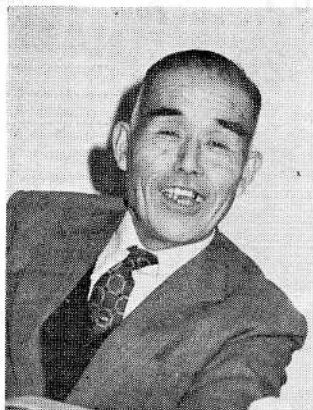
『まず家庭の中から見直そう』

自分の行動に責任をもちたい

司会 皆さんおめでとうございませう。

本日は新春座談会ということで五つほどのテーマについて皆さんに村の現状やら将来について話し合いをしていただくよう計画しましたので、どうか卒直なご意見をお願いします。

村長 おめでとうございます。私はいつとも村の行政は“住民と共に考え、住民と共に歩む”というよ



安江和吉さん

和吉 お年寄りの方々に“清く美しい生きがい”をもっといただろうかな何かを老人クラブの中でも話し合い、やりとげたいと思っています。真澄 商売をやっていますので、昨年よりも

うな言葉を使って申しあげておりますが、皆さんの意見、要望などお聞かせ願いたいと思います。司会 それではまず最初に新年の抱負をひとつづつ伺います。

紀代美 今年成人式を迎えますが自分の行動に責任をもち、物事に

対し自分で結論がだせるような人間になりたいと思っています。それから、現在農協に勤めてい

ますが、村の人の名前と顔を覚えるよう努力したいと思っています。健康 私はお茶を作っていますが昨

年は霜にやられましたので、いままでの経験を生かし多少なりとも改善してゆきたいと思

いい商いをするということ、いいお嫁さんでも見つかったらと思つてます。辰也 一家を背負っているということ、家内中“まめ”で、昨年の暮らしができたらと思つています。現在夫婦二人だけの生活ですが、お互いに健康にだけは気をつけ仲良くやっていきたいですね。

健康は自覚が大切

司会 最初のテーマは健康ということですが、生活の基礎である健康については行政も力を入れなければならぬと思いますが、皆さんの自覚がより以上大切だと思います。いかがでしょう。和吉 年寄りの健康は腹を立てないことが一番大切です。家庭の中、グループの中、あるいは会合の中で心が解け合うようにしてゆきたい。健康 私たちの年代もそろそろ病気になるがちな年代になったことを自覚しなければいけないと思うし、村がやっている成人病検診なども進んで参加することも大切だと思います。辰也 先ほどいわれたように最近

私も積極的に家族の一員としての責任を果たしたいと思つています。そうすることが明るさにつながると思います。司会 りゑさん、栄養改善という立場からはどうですか。りゑ 食生活についての関心は大変高くなっており、先輩の人たちの努力が実を結び軌道に乗つたと思つています。ただ、栄養改善推進員の中から成人病検診のスタッフに加わり皆さんの健康のために大変苦勞されていますが、一番受診してもらいたい四十歳代の受診が少ないことが残念でなりません。村長 今、成人病検診のことが話題になっていますが、要望などありましたら……。辰也 三年か五年おきでいいから心電図など、もっと詳しい検査もやってほしいのですが……。りゑ がん検診のような形で希望者だけでなく有料でいいからやってほしいですね。

出席者 一敬称略一

- 安江和吉 (西洞) 67歳
- 安江辰也 (宮代) 49歳
- 田口りゑ (中谷) 47歳
- 熊沢健 (黒淵) 43歳
- 田口真澄 (平) 26歳
- 安江紀代美 (陰地) 20歳

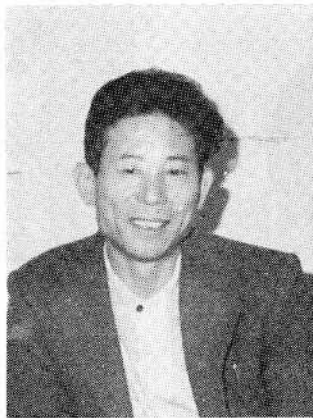
村長 安江多策
司会 企画広報課長 安江公平

農林業の振興と地場産業の育成を

司会 いい意見がたくさん出ていますが、時間もありませんので次の産業に移りたいと思います。
健 人口が増えなければ村も盛り上がりません。現在のままでは若い人が出て行ってしまし、工場の誘致といった考えはないですか。
りゑ 現在の村の人口構成でいうと常時百人二百人の労働力を確保する工場誘致はむずかしいではないでしょうか。季節的に働きたい



田口りゑさん



安江辰也さん

司会 産業に関連して村の観光についてのご意見を伺います。
りゑ ここはよそから人がどんどん入ってくるような

村長 今まで補助の制度上制約がありました。山形振興事業の諸制度の有効利用により圃場整備も検討してゆく考えです。
司会 産業に関連して村の観光についてのご意見を伺います。

辰也 後継者に農業の夢をもたせるという点では大切なことだと思えます。どうかわかりませ

人は多いと思うのですが。村長 工場誘致の問題もかなり以前から検討してきましたが、オイルショック以来経済状態が悪くなったのと、本村においては立地条件がかなりむずかしい。和吉 一人でも二人でも人を使っている地場産業を大切にすることが重要です。村長さんもその点に十分力を入れてほしいと思います。健 農業の基盤整備は将来大切なことだと思えますが……。和吉 先日佐見へ行ったら、大きな負担の割にはメリットが少ないようなことを聞いていた。将来はどうかわかりませ

司会 次に教育問題に入ります。まず統合小学校の建設についてのご意見をいただきたいと思えます。健 子供たちが誇りをもって学べる学校を一日も早く造ってほしい

教育はしつかりした計画性をもって

司会 青少年の健全育成とかその他教育全般にわたってどうでしょうか。
和吉 青少年の健全育成が一番大切なのは家庭です。すなおに育てればそんなに悪い人間にはなりません。
辰也 先ほど健康の話がでてい

真澄 この村で農業、林業を専業でやっている人はごくわずかだと思います。若い人がここに定着しまた出ている人が帰ってくるには働く場所が一番問題だと思えます。辰也 近隣の町村では、統合し、新しい施設で新しい勉強の仕方で学んでいます。この村はおくれているわけで、特に学校などは村民の要望が強いからとか、村長の人気とあるいは経済状態がいいから建設するといったものではないと思えます。
りゑ 私はよく青年団の行事に顔を出しますが、青年との交流ももっと深める必要があるように思います。今いっしょうけんめい練習している演劇などを見ることも青年を理解するよい機会だと思えますが……。
真澄 一般の人と青年団とのつながりが何年前に切れてしまっているように思います。私たちが努力しますから一般の人も青年を理解するよう努力してほしいと思えます。

観光は無理ではないでしょうか。真澄 道路が改良されてしまえば名古屋や岐阜からは短時間になりますし、自然を生かした遊歩道などを作り、健康的で家族向きな観光はいかがでしょうか。大々的に観光事業をすれば公害なども考えなければなりません。司会 次に後継者問題にふれてみたいと思いますが、若い人の意見はどうですか。紀代美 私は先ほどの観光事業に関心があるのですが、工場誘致がむずかしければ、観光事業で若者に魅力のある村にできないでしょうか。例えば、この村でしかできない民芸品などを作る人、それを売る人、多くの人が来るようになれば働く場所もできると思います。それから農業後継者のことでは白川高校など農村の高校に農業園芸課程のないのも不思議です。

辰也 どうしてもその年代年代の「から」にとじこもりがちです。もっと各年代層の話し合いの場を作り交流を深めなくては社会教育の進展はないように思います。

りゑ 私がよく青年団の行事に顔を出しますが、青年との交流ももっと深める必要があるように思います。今いっしょうけんめい練習している演劇などを見ることも青年を理解するよい機会だと思えますが……。
真澄 一般の人と青年団とのつながりが何年前に切れてしまっているように思います。私たちが努力しますから一般の人も青年を理解するよう努力してほしいと思えます。

したが、体の健康は自覚が第一ですが、心の健康は家庭での生活が大切だと思います。高校生などの非行の芽は幼児のうちですであるといわれています。親の毎日の生活態度が大切です。
りゑ 私はよく青年団の行事に顔を出しますが、青年との交流ももっと深める必要があるように思います。今いっしょうけんめい練習している演劇などを見ることも青年を理解するよい機会だと思えますが……。
真澄 一般の人と青年団とのつながりが何年前に切れてしまっているように思います。私たちが努力しますから一般の人も青年を理解するよう努力してほしいと思えます。

とあります。それから廃校の利用方法もよく検討していただきたいですね。和吉 たいへんよいことだとよろこんでいます。通学問題ですが、これは濃飛バスを利用したほうが将来利点が多いのではないのでしょうか。村長 一定時間内に大勢の子供たちを集めなければならぬし、中学生は定期バスを利用しますので無利があります。一部定期バス利用については検討の余地もあります。



村長 安江多策

老人福祉は家族の

交流から

司会 次に福祉の問題にうつりたいと思います。福祉といっても幅が広いわけですが、特に老人福祉についてお年寄りの立場から和吉さんいかがでしょうか。

和吉 上を見たらきりがありませんが、今のところ申し分ありませんたいへんありがたいことだと思っています。

それよりも、こうした経済状態の悪い時ですので、老人も大事で

すが、もっと恵まれない人にゆきとどいた福祉をほどこす方向にもってゆくことが大切ではないでしょうか。

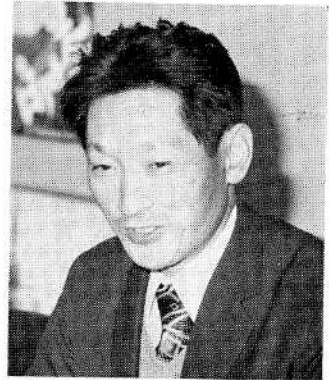
辰也 先日老人クラブで発行しておられる「白寿」を読みましたが大変感銘を受けました。

これは福祉とはいえないかも知れませんが、お年寄りの人たちのすばらしい考えや意見を逆に私たちにあたえてほしいと思います。

子供部屋を作ったためノックしなければ入れない状態と同じように、老人クラブができたために老人は老人の世界に同じこもってしまわれるような気がしません。

第一線でもっと働き指導していただきたいと思っています。和吉 たいへんいい話をうかがいました。それから老人を大事にするということ、テレビを買ってやる、ということがかえって老人を孤独にしています。

これは同じ屋根の下に住んでいる家族というグループがくずれのおそれがあります。まず家族の中で若い人が年寄りと交流を図ることも老人福祉といえると思います。



熊沢 健さん
司会 安江 公平



安江 公平さん

かえって老人を孤独にしています。これは同じ屋根の下に住んでいる家族というグループがくずれのおそれがあります。まず家族の中で若い人が年寄りと交流を図ることも老人福祉といえると思います。

「学園村」が未来の夢

司会 最後に村の将来の青写真についてひとことお願いします。辰也 現実がせいじいばいで十年先二十年先は想像もできません。健康夢がなくてすみませんが、現状とあまり変わらないと思います。

道路網の整備により多少人口は増加すると思いますが……真澄 地場産業が発達し、また通勤可能な所に工場ができ、若者がもっと増え、活気あふれる村になってほしいと思います。辰也 都市部にある大学や高校がどんどん進出してくるような「学園村」になることが夢です。

村長 村の発展にいろいろなご意見がありました。なんといっても現在村は農業と林業を基盤に成り立っています。まず農林業の振興を図ることが大切だと思います。もちろん就業の拡大も大切で

また、教育に関するのですが自立するまでの期間が長い人間にとって教育がいかに大切かをよく認識していただきたい。したがって、学校を統合し新しい教育をしてゆかねばならないこともよくわかっていただけたと思います。

また、自治意識に根ざした要望の採用、地域の特性に応じたきめ細かな投資、物心共に豊かな地域社会と心の豊かな郷土建設には視点を要した行政など、そんなことを五十三年の施策の中にとり入れ、そしてただ今のご意見を参考にさせていただきます。村づくりに励みたいと思います。司会 本日はどうもありがとうございます。

「けいじはん」



誕生おめでとう
ございます。

戸籍の窓

(十二月)
上親田 安江 兼広 慶太
かな多 長男



いつまでも
おしあわせに

(十二月)
安江 正夫(平)
田口 朝子(上佐見)



おくやみ
申しあげます

- 柏木 桂川 宅治 (68歳)
 - 中通 村雲 守雄 (39歳)
 - 平 安江 勇 (53歳)
 - 日向 笹俣 良吉 (78歳)
 - 平 安江 朝忠 (39歳)
- 有線電話の新設
平 安江 玲二 二六七八
中谷クラブ 三〇〇四
- 夜光タスキのあつ旋
健康増進のため夜マラソンをする人が増えました。交通安全のため夜光タスキをお勧めします。企画広報課へお申し込みください。(一本三百円)



神付 義巳さん
村雲 (35歳)

商売をしている関係で
景気が一番心配。
ねばりと根性の年にな
りそう。手綱を引きしめ
がんばりたいと思う。



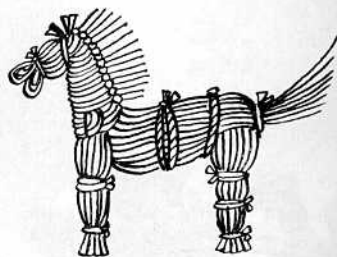
大沢 今井さなゑさん
(23歳)

自分というものをしっ
くり見つけてみたい。そ
して、何かひとつはっき
りしたものを、自分自身に
自信をもてるものをつか
みたい。



宮代 伊藤かつえさん
(11歳)

今年は中学生になりま
す。自分で計画したこと
は必ず実行できるように
したい。
そして、好きな書道を
もっと勉強したい。

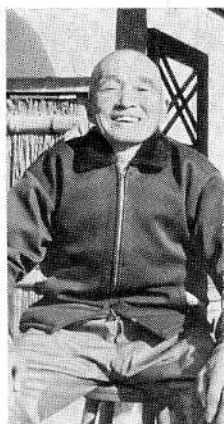


1978

初春インタビュー

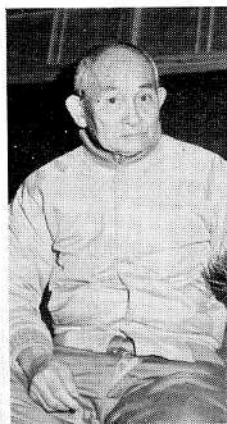
皆さん、あけましておめでとうござい
ます。
「一年の計は元且にあり」と申しま
す。決意も新たに希望に満ちた新年を
迎えられたことと思います。
今年が馬年。そこで馬年生れの皆さん
に今年の抱負をうかがってみました。

われら馬年



日向 貞一さん
安江 (83歳)

じっとしていることの
できない性分で、今年も
野菜づくりが楽しみ。
しかし、無理をしない
で、健康第一で一日一
日を大切にしたい。



大明神 安江 真澄さん
(72歳)

人生六回目の馬年。苦
しいことのほうが多かっ
た。これからは健康に気
をつけ、好きな盆栽をい
じって余生を送りたい。



加舎尾 田口 時男さん
(59歳)

この馬年で初心にかえ
り、スポーツ(テニス)
で心身とも鍛え、社会の
情勢がどう変わろうと、
何ごとにも負けないで前
進したい。



平 今井さだみさん
(47歳)

そろそろ健康の曲がり
角になる年ころ。
身近かな健康法マラソ
ンだけは続け、自分の意
思と行動で健康を保ちた
い。

一般募金		円
大口	口	5,500
平親	田	56,780
下上	田	20,177
中	通	18,650
神	付	18,800
中	谷	11,600
加	尾	11,000
西	洞	4,200
曲	坂	23,000
日	向	14,350
陰	地	27,300
栃	山	41,550
黒	測	12,250
大	神	17,230
柏	本	27,170
宮	代	21,200
大	沢	10,450
下	野	8,265
久	見	11,300
須		6,400

歳末たすけあい募金 年々ふくらむ善意 今年は78万円集まる



共同募金会東白川分会が主体になり、昨年の暮れに行われた歳末たすけあい運動募金についてまとめましたので、その結果をお知らせします。

自分たちの生活がせいっぱいという、今までにない円高不況の中で募金運動が展開され、村内皆さんの善意を募った結果、善意の輪が昨年より更に一段と大きくなり、目標額六十万円を大幅に上回り七十八万一千四十四円の、温かい思いやりの心を、お寄せいただきました。

この中には、大口の安江真人さん（神土小六年生）が、アルバイトをして貯めたおこづかいを恵まれない人にと、また今年も西洞の樋口智

団体、サークル、職場、個人

村議会議員一同	11,600
東白川民生委員協議会	10,000
茶道クラブ	5,000
日向カミソリグループ	5,000
カミソリグループ 今井久子他4名	3,000
木犀会	3,000
長瀬カミソリグループ	2,000
千秋流三ツ葉会 東白川支部	5,000
新日本婦人の会 東白川支部	10,000
曲坂カミソリグループ	3,000
創価学会東白川OB	7,970
東白川中学校生徒会	5,575
東白川中学校教職員	5,000
五加小教職員、児童会	3,116
神土小教職員、児童会	15,964
越原小教職員、児童会	4,248
老人クラブ長寿会一同	5,300
東白川村明るい社会 づくり推進協議会	5,000
東白川村栄養改善 推進協議会	5,000
全通信労働組合 東白川分会	16,364
村雲建設、村雲兵衛 他4名	5,000
東白川母子センター職員	3,000
越原保育園職員一同	1,500
森林組合職員一同	3,500
神土保育園職員一同	2,800
五加保育園職員一同	600
東白川農協職員一同	7,388
東白川村役場職員一同	45,073
東白川病院職員一同	4,600
東白川ガス従業員一同	3,000
山田土建株式会社一同	13,050
木村建設従業員一同	6,530
共立木工所従業員一同	5,000

丸大製材所従業員一同	9,650
山口木工所従業員一同	12,000
東白川織維従業員一同	3,000
立保土木従業員一同	17,500
東白川産業従業員一同	10,000
村雲工業従業員一同	3,350
田口建設 5名	6,000
白川テキスタイル株式会社 社従業員一同	3,700
丸登製材所従業員一同	3,620
村雲建築	3,000
長瀬産業従業員一同	5,000
カ製材所	1,000
安江建築従業員一同	7,000
白川縫製、宮田清一他	5,000
又十製材所従業員一同	6,900
古田木材店	5,000
丸登建設株式会社一同	5,780
又 建築 村雲久夫他	1,000
大平工業株式会社 従業員一同	4,500
安江自動車	5,000
平、安江繁一	10,000
日向、桂川晴雄、桂川和子	2,000
平、栗本康夫	5,000
大口、安江真人	2,000
日向、村雲順一	5,000
平、長尾聡、久須見、古田正志	1,030
平、沢木きしの	3,000
平、沢木宏充、沢木佳美	1,540
白川町、清水トモエ	10,000
白川町、渡辺恒雄	2,000
平、安江由佳、安江由紀	2,097
日向、安江延生	3,000
柏木、近藤富雄	5,000
大口、村雲いづみ	1,250
加舎尾、安江成喜	1,000
日向、安江ひこ	2,000
西洞、樋口智美、樋口利久美	2,000
下親田、村雲次郎	1,000
柏木、栗本千文	1,000
陰地、安江美里	2,867
役場窓口取扱	910
こしはら商事白川茶(4kg入)10缶	

共さん（東白川中一年生） 利久美さん（神土小五年生） 姉妹はお母さんの、新聞配達の手伝いをしてためたおこづかいを、恵まれないお友達にと、平の沢木宏充さん（神土小六年生） 佳美さん（白川高校一年生） 姉弟、平の安江由佳さん（東白川中二年生） 由紀さん（神土小四年生） 姉妹、平の長尾聡さん（東白川中三年生）、久須見の

古田正志さん（東白川中三年生）たちから、いづれも、おこづかいを恵まれない方たちにあげてくださいと届けてくれました。

このような子供さんたちをはじめ、各職場や各種団体からもたくさんの募金をいただきました。

このみなさんからのご厚意を、十二月十九日に民生委員が手分けして、村の方が入所しておられる

福祉施設等を訪問し、慰問品を贈ったをはじめ、十二月中に村内の恵まれない方たちに慰問金をお届けしました。

■赤い羽根共同募金
昨年十月に行った、赤い羽根共同募金については、目標額十四万円に対し、募金額二十四万二千九百三十六円の好成績となりました。ご協力ありがとうございました。

中国見てある記



教育委員会 安江雅信

教育委員会事務局
の安江雅信君(日向)
は岐阜県が主催した
青年海外派遣「岐阜
県青年友好訪中国」
十八人の中に選ばれ
昨年十一月二十五日
から二週間にわたり
中国を訪れました。
その手記を五回にわ
たり紹介します。

「中国」それは安子さんの里婦
りもあって本村でも関心の深い国
です。

質素な国民性や強力な政治体制
といったイメージをいだいて訪れ
た中国で私が見たまま、感じたま
まを書かせていただきます。

大阪から中国民航の飛行機で出
発。チャイナドレスの美人スチュ
アーデスが……と思われるでしょ
う。しかし中国では子供にいたる
までほとんど国民服で、ここでも
例外はなく彼女たちも国民服でし
た。

北京空港へは夜到着、まずその
寒さにびっくり。空気が乾燥して
いるので全員マスクをつけ、バス
で市内のホテルに向かう。この中
国製のバスはヒーターもなく質素
そのもの。

最初の食事は中華ソバ、本場の

中華料理に心はずませ食堂へ行
くと、大きな器の底に細いメン、
スープも薄く舌が落ちるほどでも
ない。これが本物だそうなの。
◇

天安門広場に向かう。自転車
が多い、個人の乗物は自転車と
わずかに馬車を使っている。
朝夕ともなると完全舗装された
広い道路は自転車の群でいっぱい
になり、それをかき分けるように
労働者に乗せたバスやトラックが
走って、ここにも交通渋滞があっ
た。

車は右側通行。そして信号もあ
る。ところがこの信号、どの交
差点にも必ずお巡りさんがいて手
で操作していた。

立派なビルが立
ち並び想像とはか
なりちがう。天安
門広場は幅が三、
四百メートルあり、こ
れが本場の広場と
いう気がする。

その近くに毛主
席記念堂がある。
ここへは毎日何万
人という人が全国
からやってくる。

中へ入ると大広間
の中央に水晶のひ
つぎに収められた
故毛沢東主席の遺
体がある、人々は
自分たちの偉大な
指導者の死に涙を

流していた。

中国の人々にとって毛主席は実
に偉大な人物である。どの街かど
へ行っても、どの学校や工場へ行
っても、そこには必ず「毛沢東思
想万歳」と書かれているし写真も
多い。

青年から老人までがその指導を
信頼し、小さな子供までが彼を称
える歌を歌っている。

今、中国は人民の共通意志とし
て毛沢東思想を遂行し自分たちの
力で国を豊かにしようとしてい
る力強さを感じた。



幅が400mもある天安門広場

季節の話題

もっと一般的な話としては富
士は日本で一番高い山だし、鷹
はたいへん強い鳥でめったに負
けない、茄子は「成す」に通ず
るから三つともめでたいものば
かり、それを初夢に見ることは
たいへん縁起がいいという説で
す。

季節の話題

初夢

元旦の夜から二日朝にかけて
見る夢が初夢。

江戸時代には良い夢を見るた
めに枕の下に入れて眠る宝船の
絵が売り歩かれたといいますが
から、その頃は社会的な行事だっ
たのでしよう。

◇
初夢にどんな夢を見たらよい
のか、一般にいわれているのが
一富士、二鷹、三茄子がありま
す。

その由来にはいろいろありま
すが、その一つは徳川家康がま
だ駿府(静岡市)の城にいた頃
ある日三保に遊びに行ったので
す。

その時は四月だというのにも
うナスが実っていたので、これ
は珍しいから買って帰ろうと思
い値段を聞いたらものすごく高
いのびっくりしました。

そこで家康は「駿府で高いも
のは富士山と愛鷹山だけかと思
っていたが、茄子も高い」とい
ったのがはじまりだといので



「ほく健康だよ」元気に就学児検診(12月14日)

今年の入学児は57人

大きく育つ試練の場

入学をひかえての心構え

今年小学校へ入学する子供は神土小へ25人、越原小へ23人、五加小へ9人の57人です。

入学まであとわずか、そこで神土小学校の内木みき先生から入学前の心構えを寄せていただきましたので参考にしてください。

一年生になる……この手ていつくしみ育てた我が子が、いよいよ小学校へ入学するといふ感慨は親にとって忘れ難いものです。それは喜びであると同時に「この子も小学生として、これからはいろいろな学習活動を通して悲しいことや、苦しいことに会わなければならないのか」というふびんさに胸をつかれる思いもするでしょう。考えてみると、学校はこの幼い子たちにとっては楽しいことばかりでなく、苦しいことも多い場所でもありません。腕力の強い子、温和な子、泣き虫も甘えん坊

も……親の助けも及ばぬところで鍛え合うのです。

親が今まで生活で味わった経験に近いものを、子供は子供同志のふれ合いの中で経験していくのです。人の人格はこのような人と人とのふれ合いの中で形成されるといわれています。

かわい子供を猫かばいするのではなく、子供はこのようなら経験も、豊かでたくましく、人間らしく育つための大切な糧となると思えます。

幼児期はとかく愛情のあふれ出るまま大事にかわいがって育てておられたことも、これからは自分の力でやり抜いていけるよう、ひとり歩きのできるようにと仕向けていきたいものです。

勉強は教科書ばかりでなく、友だちとの交わりや、他人に対しての思いやりなどの面からみても、家の子一人だけでなく、みんなのつながりの中で豊かな心情を育てていける環境づくりも心がけてほしいものです。

友だちはすばらしいもの、信頼に価するものだという人間観を子供のうちに育てておきたいものです。また家庭では親子のつながりの中で家族の一員としての自覚や、家庭生活の中で子供なりに果さなければならぬ役割りが判る子にしたいものです。

そのためには常に親と子の交流のある温かい家族づくりも大切な条件のひとつと考えられます。

ふえている心臓病

わが国で一年間に死亡する人を、死亡の原因別にみますと、脳卒中、がんに次いで、心臓病は三番目になっています。

心臓病による死亡数の年次推移をみますと、昭和十年には三万九千九百二人でしたが、年々増加して、昭和五十年には九万九千四百十九を数え、約三倍にも増え、大幅な上昇ぶりです。

欧米諸国のほとんどでは心臓病が死亡順位のトップとなっており、わが国でも、今後ますます

心臓病による死亡者が増えていきそうです。心臓のしくみ 人間の心臓の大きさは、だいたいその人のにぎりこぶしぐらいといわれています。心臓の壁は、筋肉からできており、中には部屋が四つあります。

暮らしと健康



心臓病

人間の心臓のしくみ

たてにある壁は心臓を左と右にわけています。左右の部屋はさらに上下の二つに分けられ、上のほうの大きいのを心室とい

います。左心房と左心室の間には穴があって、ここに弁がついていて血液はいつも心房から心室に向けて流れるように開いており、心室から心房に逆流しようとすると、この弁が閉じて逆流を防ぎます。

心室からは血液を外に送り出す動脈が出ています。左心室から出るものは、からだの中に血液を送るもので大動脈、右心室から出るものは、血液を肺に運ぶもので肺動脈といえます。また、心房に血液を運んでくる血管を静脈といえます。左心房に

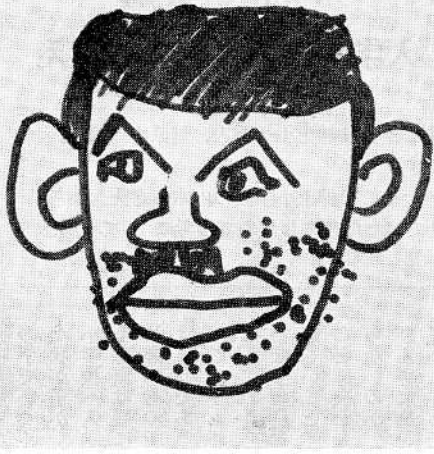
つながっているのを肺静脈、右心房につながっているのは大静脈といえます。心臓のはたらき

血液をからだ中に送り出した後、再び受け入れたり、いわばポンプの役目をしているのが心臓です。

血液は、酸素や栄養素をからだのいろいろな部分にはこび、また老廃物をはこび出して、腎臓や肺を通してからだの外に出すというはたらきをします。

左心房と左心室の間には穴があ

似てるかな



ぼくのおとうさん

神土小2年 安江 巧 樹

—上親田 安江泉治さん三男

おとうさんとプロレスをやった。「ひっさつわざ」をかけたけどまけそうになった。
まけてたまるかところの中でいった。
おかあさんが「こはんよ」といったので、ひきわけになった。

今年も所得税や贈与税の申告期が近づいてきましたが、申告の準備は進んでいるでしょうか。

税の告知板

所得の申告は
お早目に
をる 受け
還付 受ける

昭和五十二年分所得税の確定申告の期間は昭和五十三年二月十六日から三月十五日までですが、税金の還付を受けるための確定申告は二月十六日より前でも受け付けています。

源泉徴収された税金や予定納税をした税金が納め過ぎになっている人は、早く申告すれば税金の還付も早く受けられます。

〈確定申告すれば税金がもどる人〉
一、年末調整後納めた税額のあるサラリーマンで、雑損控除、医療費控除、住宅取得控除などを受けることができる人
二、年の途中で退職し、その後就職しなかったため年末調整を受けなかった人
三、予定納税をしていたが、休業や廃業などのため所得が前年より大幅に減った人

電話局だより

—美濃白川電報電話局

今回の自動ダイヤル化で電報も一五をダイヤルするだけで簡単に打つことができるようになりました。

これから春にかけては結婚シーズンとなり、お祝い電報が大安日、祝日、週末などに集中して発信され、一五番の電報受け付けが混雑します。

そこで電報局では配達日の十日前から受け付ける配達日指定電報があります。

この電報は配達日の三日前までにお祝い電報を発信されますと、一通につき百五十円割引きとなっておりますのでぜひご利用ください。

暮らしのカレンダー

*はしか予防接種

- ・とき 1月25日
午後1時30分～2時
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 1歳を過ぎてできるだけ早い時期の幼児(希望者)
- ・費用 1人 2,500円

*母親学級

- ・とき 1月27日
午前9時から
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 6～12カ月児の母
一歯に関する衛生教育
(講師熊崎歯科医)

*青年祭

- ・とき 1月29日午前9時から
- ・ところ 東白川体育館
- 青年団が日ごろの生き方、悩み喜びを創作劇で力いっぱい演じます。青年を理解するよい機会です。おでかけください。

*地区講演会

- ・とき 2月5日午後1時から
- ・ところ 越原公民館
- ・講師 伊藤三郎(青少年育成
県民会議事務局長)
- 家庭でのしつけなど青少年問題の講話です。

*糖尿病教室

- ・とき 2月7日
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 糖尿病教室生Bグループ

*村民剣道大会

- ・とき 2月12日午後1時から
- ・ところ 東白川体育館
- 団体戦(5人)地区編成、個人戦

*母子健康相談

- ・とき 2月15日
午前9時30分から
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 3・4・5カ月児とその母親

*第1回村内マラソン大会

- ・とき 2月19日
中学生男子・女子、青年男子、
30歳以上男子、40歳以上男子、50
歳以上男子、一般女子
参加資格は村内に在住する者—
詳しくはチラシでお知らせします

*フッ素塗布

- ・とき 2月20日
午後1時30分から
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 3歳までの幼児(希望
者)年2回が理想です
- ・費用 1人1回 500円

民俗風俗あれこれ

人の一生



一村誌編さん室だより

嫁ぐれと三つ目

祝言(結婚式)の翌日、嫁は再び花嫁衣裳に身を飾り、姑またはおばに連れられて隣近所や近い親せき、知人宅へあいさつ回りをする。

これを「嫁ぐれ」といい、嫁の名前で土産(主にふるしき)を持って行く。先方ではそれに対してお祝儀を出すのがならわしであった。

一方、この日は「あとふき」に招かれた身近かな人びとに嫁も仲間入りして晴れやかなひとときを過ごす。嫁と近隣の交際のはじまりは、このような場を通して開かれたものである。

祝言から三日目に姑は嫁を連れて、嫁の実家を訪れる。

これを「三つ目」または「いちげん」といい、両家の親同志が対面し、じっくり心を通わせあう場でもある。

普通日帰りの場合が多く、もてなしを受けて帰るとき、今度は嫁方の両親を伴って来るのが通例であった。つまり両家の親せきつきあいの始まりというわけである。

ひざ直し

結婚式後十日ほど過ぎたところで、嫁が連れ立って嫁の実家を訪れる。

嫁迎えのときは堅くなりすぎて、婿の足もしびれたであろうから、今日は気楽にほぐしてくれという

すなわちひざくずしの意味が含まれていた。

いまひとつは、挙式以来緊張の連続であった嫁の気分をいやし、他人を交えず二人きりで水いらすのひとときをという周囲の思いやりの意味もあり、これが昔のつましやかな新婚旅行だったともいえよう。

現代では、結婚の様式に大きな変化があり、家庭での結婚式はほとんどなくなり、いわゆる式場で挙式そしてひろろというのが一般的である。

しかし、三つ目とかひざ直しといった風習は今でも残っている。

よろしく

新婚です



栃山 安江 博・直子さん夫婦

博さんは本村農業後継者の一人。大規模な養蚕に加えて昨年からは養鶏にもものりだし、穏健な人柄の内に密めた農業に対する情熱ははげしいものがある。

直子さんは西洞村雲利彦さんの長女で役場に約6年間勤め、収入役の下で会計事務をしていただけに、ルーズなことは嫌いというしっかり者。

お互い青年時代からの知り合いで人生を大いに語った仲。さらに2人とも本村バレーボールの選手として活躍し、共通点が多い。

けんかは青年団時代に大半済ませたとかで、これからは仲良くするだけ。

2人で北海道を旅行するのが当面の目標という。 世帯主 化平さん 11月18日結婚

昭和52年中

村内の結婚は25組

人口が少なくなるにしたがい、当然のこととして結婚する人も少なくなるが、私たちの村のように人口の少ない所ではひとつの周期もある。

人口が約5,000人であった昭和35年に村内での結婚は34組。それから10年後の昭和45年には、人口が4,128人(4月1日現在)で結婚が25組。

その後人口の減少とともに結婚も減ってきたが、昭和51年(人口3,934人)に20組、昨年25組と増加している。

昭和30年以降の自然動態、社会動態をみると、出生の1番多かったのは昭和31年の107人。死亡の多かったのは、昭和32年の62人。

以下転入が昭和37年の156人、転出が昭和38年の309人となっている。

ちなみに昭和52年1年間で出生が36人、死亡37人、転入が116人、転出が140人となっている。

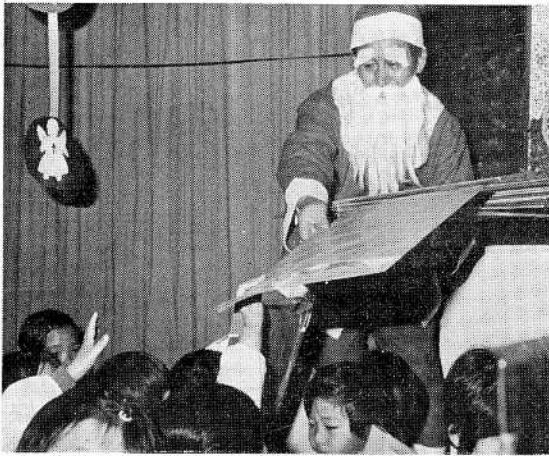
▼今月の料理▲

ポテトオムレット (4人分)

材料 卵：四コ、馬鈴薯：小二コ、マーガリン：大サジ一杯と二分の一、レタス：二分の一コ、パセリ、コショウ各少々、トマトケチャップ大サジ：四、塩：小サジ二分の一弱、サラダ油少々

作り方

- ① いもはゆでて、いちよう切り、玉ねぎは薄いくし型に切り、サラダ油でサット炊める。
- ② 熱したフライパンにマーガリンを入れ一コづつ卵を焼き、①を四等分し卵に包み、具入りオムレットを焼く。
- ③ レタスを敷き、パセリをそえて皿に盛りケチャップをかけて食べます。



村長の サンタ保育園へ

恒例になった村長のサンタク

ローズが12月24日村内各保育園を訪れました。

真赤な服に 白いひげをつけてサンタのおじさんになった村長がプレゼントをいっぱいつめた 袋を肩に 保育園を訪れ園児たちを喜ばせました。



- 働きながら勉強していることを誇りと思ひ、がんばっていききたいと思ひます。
- 瑞浪市土岐町四八五八の一 瑞浪高原開発株式会社 安江 高子 さん長女
- 日向 安江民雄

辛さの中で過ぎた一年

でも魅力を感じる今の生活

ふるさとへの便り



早いものですね。私が瑞浪にきて早や一年過ぎてしまいました。初めて親元を離れて、勉強と仕事の二本立ての生活をする私にとって、学びとることは数多くありました。入学して一週間というものの、どれだけ長く感じたことでしょうか。

このままで一年間を過ごすことができるだろうかと不安に思っただけでした。夜、布団の中で一人っきりになった時、これから先のこと、そして泣いても笑っても一年間帰ることができないんだ……と思うと自然に涙があふれてくるのです。

学生だからといって職場でのミスは許されません。学生であり、また一人の社会人としてお客さんに接し、上役と接しなければなりません。先輩と後輩とのあり方、そして標準語での話し方などにもできない私にとっても苦しいことでした。楽しみ、喜びに対し、悲しさ、辛さはその何倍以上あったことでしょうか。大人の世界にふれてみたい年ごろなのに、おしやれひとつゆるされない生活。聞くだけで堅苦しく感じられると思います。しかし、私はここにきてよかったです。なにか今の生活に魅力を感じるのです。

産土の宮居の庭に年明けて喜寿を迎へし吾の祈りや
絵本読み尻とり言葉指相撲なしてやうやく孫は睡りぬ
○生命ある歡喜を胸にたたみゐる孫らの声に心明るき
○見ゆるもの何も動かず朝の陽のぬくみを待てり霜ふかき日よ
○天堂に我を召されよと地を叩く杖は唸れり全盲の娘
○遙かなる御嶽の峰のあるあたり積乱雲は夕日に映ゆる
○肌身刺す川岸に立ち魚影の走る姿に声をば上げつ
○日毎農にいそしむ人と思はれずセットせし髪美しく見ゆ
○故里の山に眠れる亡き母に年越しますと除夜の鐘つづく
○床下に啼くこほろぎの力なき声聞え来ぬ冷え込む夜更けに
○朝まだき吐く息にくもる車窓をば拭きつつ凍てる職場へ急ぐ
○日今よりは姑と呼ぶる吾なりき心ひきしめ鏡に對ふ
○子供らに負担かけずに逝きたしと淋しげに言ふ夫亡き姉は
○地下足袋の跡を埋めて積む落葉雨後の山路は藪明りせり
○年頭に想ふ
○正誤 前号 安江幸さんの歌は作者名の誤りでした。原稿二枚以上のものは一枚毎に名前を書くか綴って下さい。



あなたの作品をお寄せ下さい
・初心者、特に若い人達の投稿を歓迎します。
・毎月末までに神戸田口良三宛に出して下さい。

- 産土の宮居の庭に年明けて喜寿を迎へし吾の祈りや 西村 村雲 伝三
- 絵本読み尻とり言葉指相撲なしてやうやく孫は睡りぬ 西村 安江 澄
- 生命ある歡喜を胸にたたみゐる孫らの声に心明るき 平 田口 すす
- 見ゆるもの何も動かず朝の陽のぬくみを待てり霜ふかき日よ 平 伊藤 重雄
- 天堂に我を召されよと地を叩く杖は唸れり全盲の娘 大阪西所見 平 東 新
- 遙かなる御嶽の峰のあるあたり積乱雲は夕日に映ゆる 平 安江 武子
- 肌身刺す川岸に立ち魚影の走る姿に声をば上げつ 平 安江 守平
- 日毎農にいそしむ人と思はれずセットせし髪美しく見ゆ 古知野報光寺にて 下野 安江と志江
- 故里の山に眠れる亡き母に年越しますと除夜の鐘つづく 宮代 古田 光男
- 床下に啼くこほろぎの力なき声聞え来ぬ冷え込む夜更けに 宮代 今井 米子
- 朝まだき吐く息にくもる車窓をば拭きつつ凍てる職場へ急ぐ 新山 加藤 公一
- 日今よりは姑と呼ぶる吾なりき心ひきしめ鏡に對ふ 新山 安江 幸
- 子供らに負担かけずに逝きたしと淋しげに言ふ夫亡き姉は 大明神 田口千代美
- 地下足袋の跡を埋めて積む落葉雨後の山路は藪明りせり 大明神 安江 香
- 年頭に想ふ 大明神 安江 香
- 正誤 前号 安江幸さんの歌は作者名の誤りでした。原稿二枚以上のものは一枚毎に名前を書くか綴って下さい。 田口 良三